

骨髄移植事業について



大豆生田 春美 議員

質問…本市の骨髄バンクドナー登録者数と周知方法について伺います。

答弁…令和2年10月末現在、1099人です。骨髄バンクの重要性や登録制度の周知方法については、市ホームページや産業文化祭時に県北体育館内に専用ブースを設け、周知啓発活動を行っています。

質問…骨髄移植後のワクチン再

接種の新たな補助はできないか伺います。

答弁…骨髄移植をされた方は、移植前に実施された定期予防接種で獲得した免疫が低下もしくは消失し、感染症にかかりやすくなると言われています。県内ではいくつかの自治体で骨髄移植により免疫が低下していると医師が判断した20歳未満の方に對し、予防接種に規定するA類

疾病の予防接種にかかる費用を助成しています。しかし実績としてはゼロ、もしくは数件と聞いています。国のワクチン分科会では、骨髄移植後のワクチン再接種の定期接種化について検討が始まったようですので、本市としましては、国の動向を注視し、また近隣自治体の状況を調査研究してまいりたいと考えています。

一般質問



鈴木 隆 議員

国民体育大会・同リハーサル大会・全国障害者スポーツ大会に向けた準備状況などについて

質問…大会ボランティアを募集する考え、その際の期待する役割、人数、応募方法などについて伺います。

答弁…運動部の高校生を競技補助員として120名、一般の高校生を90名、それぞれ募集することとし、学校等と協議調整を進めます。また、この12月1日から令和4年5月まで、約100名の予定でボランティアを募

集しています。

質問…環境が整った際の市内の児童生徒などによる競技を直接観戦する機会について伺います。

答弁…児童生徒の観戦については、家族で会場にお越しいただき、親子で国体を楽しんでいただきたいと考えています。国体観戦ガイド等を作成し、児童生徒を通じ各家庭へ配付することにより、家族での観戦を推進し

ます。

質問…大会を地域の発展などへのように活かしていく考えか伺います。

答弁…市全体の活性化を図るため、市民総参加、魅力発信、市民スポーツの推進、地域スポーツの活性化の4つの目標を掲げて、国体開催を一過性のものとなせず、未来のまちづくりにつなげることにしています。